



2023年5月12日

各位

会社名 昭和鉄工株式会社  
代表者名 代表取締役社長 日野 宏昭  
(コード番号 5953 福証)  
問合せ先 取締役上級執行役員 尾島 孝則  
(TEL 092-933-6391)

## 新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年における新中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への一翼を担おう！」を策定しましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

記



### 1. 策定の背景（振り返りと反省）

当社グループでは、2020年度から2022年度までの3年間、中期経営計画「全社横断の改革を実行し“140”へ向かおう！」を掲げ、売上・損益構造や財務体質の改善をはじめ、全体最適化と人材育成を加速させる体制づくり、実践的な生産性改革の推進、全社一丸での事業収益の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、長引くコロナ禍や原材料費高騰等のイレギュラーな押し下げ要因が影響し、連結数値目標（2022年度に連結売上高140億円以上、連結売上高営業利益率5%以上の達成）は未達となりました。

今般、前中期経営計画の振り返りと反省を踏まえ、改めて、当社の社是である「誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする」を根幹に全社共通の価値観としてミッション・ビジョン・バリューを再構築し、当社グループの進むべき方向性の議論を重ね、新たに中期的に目指す姿を見定めました。

## 2. 策定の目的（目指すゴール）

これからの3年間で当社グループが目指すゴールは、以下の2つです。

- 「リバイバルSHOWA」＝人財戦略と事業戦略が一貫した“強い昭和鉄工”の実現
- 「サバイバルSHOWA」＝強い昭和鉄工が一翼を担う“持続的社会”の実現

当社グループが新たな成長トレンドに向かうべく、これまで当社の長い歴史を支えてきたモノづくりへの想いと熟技術の探求へ原点回帰する一方で、直面する社会や環境の様々な課題に取り組み、持続的に成長する共存共栄の世界実現の一翼を担えるよう努めてまいります。

## 3. 新中期経営計画の概要

### (1) 連結数値目標

(単位：百万円)

	2022年度 (2023年3月期) 【実績】	2023年度 (2024年3月期) 【目標】	2024年度 (2025年3月期) 【目標】	2025年度 (2026年3月期) 【目標】
売上高	12,042	12,700	13,500	14,500
営業利益	-63	270	575	765
営業利益率	—	2.1%	4.3%	5.3%

### (2) 重点課題



## 【リバイバルSHOWA】

人財戦略と事業戦略が一貫した“強い昭和鉄工”の実現

### ①事業運営と管理運営の抜本的見直し（データドリブン経営）

- DX推進部によるデータ分析基盤の整備、データ活用文化の醸成と事業部門の能動的な顧客獲得・提案に寄与するデジタル施策の推進
- 財務経理部による原価・売価のチェック機能強化と事業部門の業務効率化サポート
- 人事部による人財データベースの構築と事業戦略に連動した人財配置・競争優位の支援
- 資材部主導のタイムリーな価格情報分析、在庫・外注管理、部品の共通化等による収益率の改善
- 品質保証部と技術・製造・営業・サービス部隊の協同によるデータ分析に基づいた生産工程・品質不良コントロールと顧客ニーズに基づいたより良い製品提案
- 内部監査室主導の事業施策遂行リスク分析、業務改善提言等による内部統制の拡充

### ②組織風土改革と自律人財の育成（人財第一主義経営）

- 「人」で勝てる現場力向上に向けたミッション・ビジョン・バリューの定着化
- 揺るぎない価値創造とリーダーシップ開発のための階層別教育システムや社内アカデミーの確立



## 【サバイバルSHOWA】

### 強い昭和鉄工が一翼を担う“持続的社會”の実現

#### ①ライフサイクル型事業の推進

- 顧客の持続的成長に不可欠な省エネ製品組込型システムの提案や有効スペース拡充確保に寄与するコンパクト製品の量産化
- 省エネ診断、省エネチューニング等の顧客満足度向上に向けた継続的なフォロー提案
- 脱炭素社会に向けて顧客の一番近くで低炭素化を支援するサービスエンジニアの育成強化
- 安全性・耐候性に加えライフサイクルコスト抑制の施工性に富んだ橋梁用多目的フェンスの拡販

#### ②サステナブル新商品の創出

- カーボンニュートラルに向けた新型業務用エコキュートの上市や高効率ヒーターのスタンダード化
- CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ搭載の次世代外気処理機やZEB推進に合わせた省エネ空調機の開発
- 加熱機器の電化・省エネ化に向け、個々の顧客要望に対応可能な電気ヒーターのカスタム提案
- 半導体製造装置等の市場向けに自動化・温湿度管理性能向上の熱風循環式加熱炉の開発・提案
- 機能差別性の高いIRセラミックヒーターのシリーズ展開とユニット製品化
- 安全性・機能性・デザイン性に富んだ生活道路用柵や車止めの開発

以上